

2026年3月31日

イオンフィナンシャルサービス株式会社

フィッシングサイトを閉鎖する取り組みへの参画について

～国内カード会社 13 社共同で取り組みます～

イオンフィナンシャルサービス株式会社（代表取締役社長：深山 友晴、以下、当社）は、2025年度より継続して日本クレジットカード協会（以下、JCCA）が主導する、国内カード会社と共同でフィッシングサイトを閉鎖する取り組みへ参画いたします。参画会社は昨年度の8社から13社と拡大し、フィッシングサイトを閉鎖する範囲の拡大等、さらなる抑止の取り組みを強化してまいります。

クレジットカードの不正利用被害額において、2025年は被害額ベースで510.5億円と前年からは減少傾向にあるものの、3年連続500億円を超えるなど、依然として高い水準であり、そのうちの大半が番号盗用によるものとなっています。（※1）その背景には、実在の企業やサービスを騙って偽メールやSMSで偽サイトへ誘導し、クレジットカード番号やパスワード等の情報を詐取する「フィッシング」（※2）の高止まりがあります。

当社ではイオンカードを騙ったフィッシングサイトを閉鎖する取り組みを行っておりますが、フィッシングの手口は日々巧妙化しており、ECショッピングサイトや公共インフラ・サービスなど、当社サービス名以外のフィッシングサイトにクレジットカード番号等を入力させる事例も報告されております。

このたび、フィッシングサイトの検知・閉鎖に豊富な実績を有する株式会社 ACSiON のノウハウを活用しながら、当社を含む国内カード会社13社並びに JCCA・フィッシング対策協議会が共同でフィッシングサイトの検知・閉鎖に取り組むことで、不正利用被害の抑制を図り、お客さまに安心してカードをご利用いただけるよう取り組んでまいります。

【取り組み概要】

国内クレジットカード会社13社と株式会社 ACSiON、フィッシング対策協議会、日本クレジットカード協会が共同でフィッシングサイト閉鎖の取り組みを拡大

<https://www.jcca-office.gr.jp/info/1531>

また、当社ではお客さまに安心してご利用いただくために、本人認証サービス（3Dセキュア）の導入や24時間365日の異常検知モニタリングなど最新のセキュリティ体制を構築しています。加えて、当社から配信するイオンマークのカードに関するメールへのお客さま氏名の記載や、カードご利用時、過去の不正利用パターンと類似したご利用分や第三者利用の可能性がある場合にはお取引を一時的に制限させていただき取り組みを実施しております。

今後も継続的なセキュリティ強化に努めるとともに、被害防止や犯罪撲滅に向けて警察当局や業界団体などと連携を深めてまいります。

【イオンカードのセキュリティ対策】

お客さまにより安全にイオンカードをご利用いただけるよう「安全・安心な機能」や「もしもの時のサービス」を提供しております。詳細は、暮らしのマナーサイトセキュリティ関連ページ をご参照ください。

<https://www.aeon.co.jp/security/>

- ※1 一般社団法人日本クレジット協会による公表計数に基づく
- ※2 フィッシングとは、クレジットカード会社などを詐称した電子メールを送りつける、偽の電子メールから偽のホームページに接続させる等の方法で、クレジットカード番号、アカウント情報（ユーザーID、パスワード）、住所、氏名等の個人情報に詐取する行為のこと

以上